

2019018

プロジェクト名 プロにサッカーを教わろう

プロジェクトの概要

Jリーグで使用されているスタジアムでプロ選手と日大の学生がコーチとなり、初心者・未経験者の小・中学生を対象としたサッカー教室を開催する。男女問わずサッカーを始めたばかりの子供たちに実際にプロと交流してもらうことで、サッカーをすることの楽しさや魅力を知ってもらう。また、スタジアムでサッカーを体験してもらうことで自分が目標としている人たちが普段どのような環境で行っているのか感じてもらうことを目的とする。

プロジェクトの結果・成果

プロジェクト提案時は、プロを呼びコーチとして依頼する予定でしたが補助金の申請額が足りず、プロを呼ぶことは叶わなかった。対象を千葉県市原市の小学生を対象に3回の開催を提案し、3回目はスタジアムを借りてプロの见ている世界を体験してもらう予定でしたが、スタジアムを借りることができず対象も生産工学部周辺の小学生となった。

提案時までの調べや考えが甘かったことから計画の大きな変更が相次いでしまい、当初の目的は達成することはできなかった。計画変更後は、日本大学のサッカー部に協力していただき練習メニューの作成を行い、広告は地域新聞の折り込みチラシとして配布した。

参加者は、第1回は1年生3人、2年生1人、4年生1人、計5人。第2回は、1年生7人、2年生1人、4年生1人、5年生1人、計10人。第3回は1年生8人、2年生1人、4年生1人、5年生1人、計11人。第1回の参加者の方から、友人にも紹介したいという意見をいただき第2回、第3回は第1回参加者の友人が追加参加となり人数が増えていった。

練習メニューは、第1回がボールタッチ・パス、第2回がドリブル・シュート、第3回は第1回2回の復習を行った。初心者を対象に行ったため、なかなかうまくいかず子供たちのモチベーションを維持することが難しかった。また、低学年の参加者が多かったため、反復練習などは飽きてしまい練習メニューを細かくわけ、同じことをずっとさせないようにし子供たちのやる気を維持し、競争形式にすることで子供たちのやる気を増進させた。

第3回終了後、保護者と子供たちにアンケートを行ったところ「また開催してほしい」や「開催回数を増やしてほしい」といった意見をいただき、子供たちからは「楽しかった」や「また参加したい」といった意見をいただいた。

活動写真

